

コンピュータ演習 第5回

今回のテーマは「ウェブの最新トピック、情報モラル」です。

- インターネットは良い面として、ウェブの最新状況を説明します。
- インターネット上でのトラブルを避けるための、マナーやルールについて説明します。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. [ウェブの最新トピック](#)
 - ウェブ上のコミュニケーション
 - ウェブ上での新しいサービス
2. [情報モラル\(情報倫理\)](#)
 - 情報モラル(情報倫理)の説明
 - 情報モラルに関するビデオの視聴と小テスト

今回の課題

- 課題: [ビデオの感想をワークシートにまとめる](#)

ウェブの最新トピック

新しいコミュニケーションの手段として

企業から個人まで多くの人たちが、ウェブを利用して活発に情報を発信しています。ウェブ状のコミュニケーションによって、情報が広く共有されています。ときには、実社会に影響を及ぼすこともあります。

- 電子掲示板 (BBS)
 - 2ちゃんねる (<http://www.2ch.net/>)、Yahoo!掲示板 (<http://messages.yahoo.co.jp/>) 等
- ブログ (Blog)
 - アメーバブログ (<http://www.ameba.jp/>)、JUGEM (<http://jugem.jp/>) 等
- SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
 - mixi (<http://mixi.jp/>)、Facebook (<http://www.facebook.com/>)、ひよこむ (<http://hyocom.jp/>) 等
- ミニブログ (「マイクロブログ」ともいう)
 - Twitter (<http://twitter.com/>) 等

みんなの情報が集まって新しい知識に

不特定多数の人たちが発信した情報が、さまざまな形でつながることで、流行をいち早くつかむことができたり、新しい知識に生まれ変わったりしています。

- 口コミ情報サイト (商品などの価格、グルメ情報)
 - 価格.com (<http://kakaku.com/>)、ぐるなび (<http://www.gnavi.co.jp/>)、食べログ (<http://tabelog.com/>) 等
- Q&A形式のコミュニティサイト
 - OKWave (<http://okwave.jp/>)、Yahoo!知恵袋 (<http://chiebukuro.yahoo.co.jp/>) 等
- Wiki (ウィキ)、まとめサイト
 - Wikipedia (<http://ja.wikipedia.org/>)、NAVERまとめ (<http://matome.naver.jp/>) 等
- ソーシャルブックマーク
 - はてなブックマーク (<http://b.hatena.ne.jp/>)、delicious (<http://delicious.com/>) 等

個人が持つデータを公開して共有

個人が所有している、写真や動画などをアップロード (投稿) して、手軽に共有するサービスに注目されています。

- 写真共有
 - Flickr (<http://www.flickr.com/>)、Picasa (<http://picasa.google.co.jp/>) 等
- 動画共有
 - YouTube (<http://www.youtube.com/>)、ニコニコ動画 (<http://www.nicovideo.jp/>)
- ライブ動画
 - Ustream (<http://www.ustream.tv/>)
- 文書、表計算、プレゼンテーション
 - Googleドキュメント (<http://docs.google.com/>) 等

情報モラル（情報倫理）

インターネットの「光と影」

パソコンやインターネットが普及したおかげで、多くの人と手軽にコミュニケーションができたり、世界中の商品を簡単に購入できたり、インターネットにある膨大な情報を得ることができたり、私たちの生活は豊かになりました。

その反面、**ささいな書き込みがトラブルに発展**したり、**メールを使ってお金を騙しとる詐欺**など、インターネットの世界はトラブルや危険と隣り合わせでもあります。

自動車社会で法律や交通ルール・マナーが必要のように、情報化社会でも、パソコンやインターネットを安全に利用するために、**利便性と危険性**、そして**ルールやマナー**を理解する必要があります。このような考え方を「**情報モラル**」といいます。ネットワークを利用する人たちがお互いに快適に利用するために、守ってほしい考えです。

情報モラルのビデオの視聴

「情報倫理デジタルビデオ小品集3」というビデオを見て、インターネットの安全性やマナー・モラルについて学習します。

- 企画著作：放送大学学園

ビデオの内容

ビデオは、8つのパートで構成されており、全部で30のテーマに分かれています。大学生の日常生活や学生生活に関連するテーマを中心に、ドラマによる事例と対策を紹介しています。

今回は、その中から、次のテーマに絞って視聴します。（時間の都合により、すべて視聴しない可能性があります）

- テーマ「便利と信頼性」
 - 13. クチコミ情報は信頼できる？
- テーマ「参加」
 - 15. SNSについた謎のコメント
 - 17. 匿名掲示板の荒らしはスルー
- テーマ「取引」
 - 21. 巧妙になったワンクリック詐欺
- テーマ「情報発信」
 - 27. Web貼りつけのレポートはNG
 - 28. レポートのズルはデンジャラス

ビデオに関する小テスト

ビデオの内容を確認するために、ビデオに関する、簡単な小テストを行います。3択問題で、1つのテーマにつき2問ずつ問題があります。

小テストの答えは、ビデオを見ていればわかるようになっています。ビデオを視聴しながら、該当するテーマの問題を解いていってください。

第5回の課題

情報モラルのビデオの感想をまとめる

課題の内容

今回の授業で見た、情報モラルのビデオについて、ワークシートを活用して、感想や自分の意見・疑問をまとめてください。

感想は、次の3つの構成で書いてください。（文字数は全体で400文字以上）

1. 情報モラルについて

- 小学校・中学校・高校で情報モラルについて学んだ内容を簡潔に書く
- 「情報モラル」という言葉から連想される、自分のイメージを書く

2. 賛成・同意できたテーマ

- ビデオ（とくに解説編）の内容に対して、強く賛成・同意できたり、興味を持ったテーマを「1つ」だけ取り上げて、その理由を書く
- 自分や知り合いなどが、テーマに関連する体験していれば、それについても書く

3. 疑問を持ったテーマ

- 内容に疑問を感じたり、あまり共感できない・よく意味がわからなかったテーマを「1つ」あげて、その理由を書く

4. まとめ

- 視聴したビデオ全体に対して、全般的な感想や共感したところ、自分の意見や疑問、あらためて注意しようと思ったことを書く
- 自分でも何か体験していれば、それについても書く

次回の授業で使用します。しっかりと書いてください。

課題の提出

小テストのプリントの裏側にワークシートがあるので、手書きで書いてください。読みやすいように、**きれいな字でなくても良いので、丁寧に書くこと。**

提出期限

- 今回の授業終了までに、記入・提出すること